

2007年9月26日

各位

東京都千代田区大手町二丁目1番1号  
 株式会社 パ ソ ナ  
 代表取締役グループ代表兼社長 南部 靖之  
 コード4332 東証第一部、大証ヘラクレス  
 問合せ先 取締役専務執行役員 川崎 悦道  
 (TEL: 03-6734-1100)

## 2008年5月期 株式会社パソナ 第1四半期決算概要

- ・ 人材派遣は堅調、成長分野の人材紹介に注力し、連結売上高は605億円（前年同期比7.2%増）と増収を継続
- ・ 当期戦略の一環として、成長に向けた人員増強、拠点開設等を実施  
 販管費増加はあるものの、営業利益は15億円（同32.8%減）、経常利益は16億円（同33.4%減）、第1四半期純利益は8億円（同29.4%減）と計画通りに進捗

株式会社パソナ（本社：東京都千代田区、代表取締役グループ代表兼社長 南部靖之）はこの度、2008年5月期第1四半期（2007年6月1日から2007年8月31日まで）の業績を発表いたしましたので、概略のご報告をいたします。

### 【1】連結業績概況

（単位：百万円／未満切捨）

	2007年5月期 第1四半期	2008年5月期 第1四半期	前年同期比
売上高	56,444	60,489	+7.2%
営業利益	2,277	1,529	△32.8%
経常利益	2,377	1,584	△33.4%
第1四半期純利益	1,125	795	△29.4%

1株当たり第1四半期純利益 1,910円77銭（前年同期 2,610円92銭）※期中平均株式数 416,247株で算出

当第1四半期の雇用情勢は、地域間の好不調の格差は変わらず、一部に厳しさは残りましたが、企業の旺盛な採用意欲から労働需給の引き締まり傾向が続くなど、着実に改善してきています。

当社グループでは、人材派遣事業では福利厚生充実等、優秀人材の確保、囲い込み施策を強化したことで、派遣稼働者数が増加したほか、成長分野である人材紹介事業で積極的な営業を展開した結果、連結売上高は60,489百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

利益面では、人材派遣事業の粗利率は前年同期に比べ低下しましたが、収益性の高い人材紹介事業やアウトソーシング事業が大きく伸長したことでこれを吸収し、粗利率は前年同期と同水準となりました。成長事業である人材派遣や人材紹介、アウトソーシング事業等の人員増強や新規拠点の開設等により、販管費が増加し、連結営業利益は1,529百万円となりました。前年同期は、販管費支出が大きく下期へずれたことが、営業利益の大幅な増益の要因となっていたため、当期は前期に比して営業利益は32.8%減となりましたが、期初計画どおり進捗しています。連結経常利益は1,584百万円（前年同期比33.4%減）、連結四半期純利益は795百万円（前年同期比29.4%減）となりました。

### 【参考：単体業績】

（単位：百万円／未満切捨）

	2007年5月期 第1四半期	2008年5月期 第1四半期	前年同期比
売上高	39,525	41,072	+3.9%
営業利益	1,295	521	△59.8%
経常利益	1,465	775	△47.1%
第1四半期純利益	1,101	517	△53.1%

1株当たり第1四半期純利益 1,242円51銭（前年同期 2,555円43銭）※期中平均株式数 416,247株で算出

**【2】事業セグメント別業績概況（セグメント間内部取引消去前）**

（単位：百万円／未満切捨）

売上高	2007年5月期 第1四半期	2008年5月期 第1四半期			
		売上高	構成比（前年同期比増減）	前年同期比	
人材派遣・請負	50,723	53,596	88.6%	△1.3pt	+5.7%
人材紹介	1,704	2,260	3.7%	+0.7pt	+32.6%
再就職支援	1,328	1,213	2.0%	△0.3pt	△8.7%
アウトソーシング	2,415	3,217	5.3%	+1.0pt	+33.2%
その他	496	472	0.8%	△0.1pt	△4.9%
消去又は全社	△225	△270	△0.4%	0.0pt	—
合計	56,444	60,489	100.0%	—	+7.2%

営業利益	2007年5月期 第1四半期	2008年5月期 第1四半期			
		営業利益	構成比（前年同期比増減）	前年同期比	
人材派遣・請負	2,076	1,384	90.5%	△0.7pt	△33.3%
人材紹介					
再就職支援	451	226	14.8%	△5.0pt	△49.8%
アウトソーシング	△119	△72	△4.8%	+0.4pt	—
その他	△134	△9	△0.6%	+5.3pt	—
消去又は全社	3	0	0.1%	0.0pt	△68.9%
合計	2,277	1,529	100.0%	—	△32.8%

**●人材派遣・請負、人材紹介事業（パソナ、パソナテック、パソナキャリア 他）**

売上高 55,857 百万円（前年同期比 6.5%増）

営業利益 1,384 百万円（前年同期比 33.3%減）

**<人材派遣・請負> 売上高 53,596 百万円（前年同期比 5.7%増）**

製造業、金融業からの需要が引き続き高く、職種別では、一般事務分野（クラリカル）が需給の逼迫感から伸び率が鈍化し、専門事務分野（テクニカル）も供給面の厳しさから横ばいとなりましたが、携帯電話の販売職需要を受けた、営業・販売職分野は前年同期に比べ大幅に伸長しました。昨今の製造現場や構内軽作業における一部事業者のコンプライアンス上の問題によって、「派遣」という働き方のイメージが低下した感否めないことから、業界全体として、「派遣」のステイタスの向上を図ることが重要であり、当社グループでは、当期においては、一部地域の派遣スタッフを対象に交通費支給を開始したほか、ワンランク上の福利厚生や教育研修を享受できる制度を整備しました。これらの施策は、派遣スタッフの長期安定化にもつながりました。また、顧客からの当社の派遣スタッフ重視の姿勢に対するご理解と、粘り強い料金交渉の結果、派遣料金の上昇基調も持続しています。

以上の結果、人材派遣事業の売上高は53,596百万円（前年同期比5.7%増）となりました。

※月平均長期稼働者数、派遣職種別売上高...6 ページ

**<人材紹介> 売上高 2,260 百万円（前年同期比 32.6%増）**

当社グループでは、若年層の転職支援を強化したほか、地方都市でも人材紹介事業を開始するなど、サービスのすそ野を拡大しました。同時に、転職コンサルタントの積極採用に加えて、教育、育成を通じたサービス品質の向上にも努めました。また、転職希望者の登録も堅調に推移しており、人材紹介事業におけるパソナグループブランドの浸透も進んでいます。こうしたことにより、国内の人材紹介事業の売上高は、1,447百万円（前年同期比52.2%増）と大幅な伸びを達成、計画を上回るペースで進捗しています。

海外の人材紹介事業については、前期に好調だった分野がややマイナスとなりましたが、全体的に堅調に推移しており、売上高は812百万円（前年同期比8.0%増）となりました。

以上の結果、人材紹介事業の売上高は 2,260 百万円（前年同期比 32.6%増）となりました。

### ＜人材派遣・請負、人材紹介＞

人材派遣事業での請求単価の上昇により、スプレッドが改善しましたが、交通費支給のコスト、社会保険料率の引き上げ等の原価上昇要因に加えて、夏期休暇のための有給休暇取得率の上昇もあり、人材派遣事業の粗利率は前年同期比で低下しました。しかし、人材紹介事業が大幅に伸長したことで、セグメントの粗利率は前年同期比で改善しています。

一方、派遣スタッフ対象の福利厚生施設「倶楽部パソナ表参道」、新丸ビルのオフィス開設や人員増強コストなどの販管費が前年同期に比べ増加したことから、セグメントの売上高55,857百万円（前年同期比6.5%増）営業利益は1,384百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

#### ●再就職支援事業（パソナキャリア 他）

売上高 1,213 百万円（前年同期比 8.7%減）

営業利益 226 百万円（前年同期比 49.8%減）

景気回復の一方感がでている業種もあり、早期退職や希望退職などの雇用調整を実施する企業が昨年度に比較して増加しています。当社グループでは、質の高い再就職支援サービスを提供することに注力したことで、需要を着実に獲得した結果、当第1四半期の受注高は前年同期比でプラスとなり、足元の受注動向も好調に推移しています。また、地方自治体の就職支援サービスの受託等、雇用就業支援事業も高品質のサービスをご評価いただき、受託先が増加しています。

順調な受注を受けて当期の売上高は好調な滑り出しとなりましたが、前年同期の売上高が前々年下期の大口・大型受注により大きく伸長したため、当期の売上高は1,213百万円（前年同期比8.7%減）、営業利益は226百万円（前年同期比49.8%減）と前年実績を下回りましたが、当期は計画どおり受注を獲得しており、今後は前年を上回るペースで推移する見通しです。

#### ●アウトソーシング事業（ベネフィット・ワン）

売上高 3,217 百万円（前年同期比 33.2%増）

営業損失 72 百万円（前年同期は△119 百万円）

福利厚生のアウトソーシング事業では、トータルコンペンセーション（総額報酬管理）等の提案営業を推進すると共に、従業員向け報奨金のポイント化サービスおよび慶弔見舞金サービス等の新メニューの拡販、更にはカスタマー・ロイヤリティ・プログラム事業等の新規事業分野の強化を行うことにより、売上高は3,217百万円（前年同期比33.2%増）と大幅な増収を達成しました。利益面では、例年、季節要因としてガイドブックの作成等によるコストが第1四半期に集中することから、営業損失は72百万円となりましたが、前年同期（119百万円の損失）と比べ、大幅に改善するなど、順調に事業を拡大しています。

#### ●その他の事業

売上高 472 百万円（前年同期比 4.9 %減）

営業損失 9 百万円（前年同期は△134 百万円）

保育関連事業や教育事業については、引き続き堅調に推移しました。また、団塊世代やシニア層をターゲットとした生活支援サービスなどの新規事業も徐々に立ち上がってきており、売上高は472百万円（前年同期比4.9%減）、営業損失は9百万円（前年同期は134百万円の損失）と赤字解消に向けて着実に進捗しています。

### 【3】財政・投資の状況

#### ●財政状況

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べて1,087百万円減少（2.0%減）し、53,338百万円となりました。純資産は、前期末に比べて370百万円増加（1.4%増）し、27,275百万円となりました。

自己資本比率は、前期末に比べて1.7%ポイント増加し、42.8%となりました。

**■財政状態の変動状況（連結）**

	総資産（百万円）	純資産（百万円）	自己資本比率	1株当たり純資産
<b>2008年5月期 第1四半期</b>	<b>53,338</b>	<b>27,275</b>	<b>42.8%</b>	<b>54,814円81銭</b>
2007年5月期 第1四半期	48,900	23,492	40.2%	47,358円09銭
2007年5月期 通期	54,425	26,904	41.1%	53,759円81銭

**<資産の部>**

資産の部では流動資産が36,839百万円と前期末に比べて2,247百万円の減少（5.7%減）となりました。これは現金及び預金が、主に法人税等の納付及び配当金の支払などにより、前期末に比べて1,631百万円減少したことなどによるものです。固定資産は16,498百万円と前期末に比べて1,159百万円の増加（7.6%増）となりました。新丸ビルにオフィスを開設したことなどにより、有形固定資産が前期末に比べて893百万円増加（20.4%増）したことなどによるものです。

**<負債の部>**

流動負債は24,281百万円と前期末に比べて1,422百万円の減少（5.5%減）となりました。これは短期借入金が増加（1,706.7%増）したこと、未払法人税等が480百万円と前期末に比べて1,689百万円減少（77.9%減）したこと、買掛金が622百万円と前期末に比べて765百万円減少（55.2%減）したこと、未払費用が10,677百万円と前期末に比べて623百万円減少（5.5%減）したことなどによるものです。固定負債は1,780百万円と前期末に比べて35百万円の減少（2.0%減）となりました。

**●キャッシュ・フローの状況**

当第1四半期間における現金及び現金同等物は前期末に比べて1,684百万円減少（前第1四半期間は4,149百万円の減少）し、当第1四半期間末現在の残高は10,066百万円となりました。

**<営業活動によるCF>**

税金等調整前第1四半期（当期）純利益は前年同期に比べて793百万円減の1,558百万円となりましたが、営業債務の減少額が1,371百万円、法人税等の支払による減少額が2,044百万円であったことなどにより、営業活動による資金の減少は1,883百万円（前第1四半期連結会計期間は1,949百万円の減少）となりました。

**<投資活動によるCF>**

主に有形固定資産の取得による支出768百万円、ソフトウェアなどの無形固定資産の取得による支出257百万円などにより、投資活動による資金の減少は1,299百万円（前第1四半期連結会計期間は1,098百万円の減少）となりました。

**<財務活動によるCF>**

短期借入金の増加額1,907百万円、配当金の支払524百万円などにより、財務活動による資金の増加は1,424百万円（前第1四半期連結会計期間は1,096百万円の減少）となりました。

**■キャッシュ・フローの状況（連結）**

（単位：百万円／未満切捨）

	営業活動による CF	投資活動による CF	財務活動による CF	フリー CF
<b>2008年5月期 第1四半期</b>	<b>△1,883</b>	<b>△1,299</b>	<b>1,424</b>	<b>△3,182</b>
2007年5月期 第1四半期	△1,949	△1,098	△1,096	△3,048
2007年5月期 通期	5,897	△3,226	△5,607	2,671

#### 【4】2008年5月期（2007年6月1日～2008年5月31日）業績予想

当第1四半期における業績は、概ね計画どおりに推移していることから、現時点においては、平成19年7月20日に発表いたしました平成20年5月期の中間期および通期の連結業績予想について変更はありません。

##### ■連結業績予想（中間） ※業績予想は千万円未満を切り捨てて表示

（単位：百万円／未満切捨）

連 結	2007年5月期中間	2008年5月期中間予想	前年実績比
売 上 高	113,202	123,790	+9.4%
営 業 利 益	4,314	2,770	△35.8%
経 常 利 益	4,392	2,780	△36.7%
当 期 純 利 益	2,073	1,300	△37.3%

1株当たり予想中間純利益 **3,119円35銭**（前年同期 4,896円12銭） ※予想期末発行済株式数 416,753株で算出

##### ■連結業績予想（通期） ※業績予想は千万円未満を切り捨てて表示

（単位：百万円／未満切捨）

連 結	2007年5月期	2008年5月期通期予想	前年実績比
売 上 高	231,231	259,130	+12.1%
営 業 利 益	8,507	9,190	+8.0%
経 常 利 益	8,807	9,230	+4.8%
当 期 純 利 益	4,198	4,430	+5.5%

1株当たり予想当期純利益 **10,629円80銭**（前年同期 10,003円68銭） ※予想期末発行済株式数 416,753株で算出

##### ■事業セグメント別予想（連結・通期） ※業績予想は千万円未満を切り捨てて表示

（単位：百万円／未満切捨）

連 結	売上高	増減率	営業利益	増減率
人 材 派 遣 ・ 請 負	231,380	+10.7%	7,000	+0.5%
人 材 紹 介	8,190	+23.2%		
再 就 職 支 援	5,070	+15.0%	770	+1.5%
ア ウ ト ソ ー シ ン グ	13,550	+32.5%	1,450	+23.4%
そ の 他	2,040	+3.3%	△40	—

#### 【5】2008年5月期（2007年6月1日～2008年5月31日）配当予想

	2007年5月期	2008年5月期（予想）		
配 当 金	2,000円	中間 1,200円	期末 1,300円	年間 2,500円
配 当 性 向（連 結）	20.0%	23.5%		

本資料に記載されている将来に関する記述の部分は資料作成時において当社が各種情報により判断した将来情報であります。その内容を当社として保証するものではありません。予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際は、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。



**【参考データ】**
**●派遣月平均長期稼働者数** (単体データ：1ヶ月以上契約の長期稼働者数の四半期毎の単純平均)

	2006年5月期				【参考】2006年5月期 (新卒・ケア事業補正)			
	第1Q	第2Q	第1Q	第2Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
月平均稼働者数	36,314	37,103	38,446	40,096				
前年同期比	+8.4%	+8.5%	+8.0%	+10.2%	+10.9%	+8.7%	—	—
	2007年5月期				2007年5月期			
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
月平均稼働者数	40,745	41,676	43,832	44,619				
前年同期比	+12.2%	+12.3%	+14.0%	+11.3%	—	—	—	—
	2008年5月期							
	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q				
月平均稼働者数	42,825	—	—	—				
前年同期比	(+5.1%)	—	—	—				

※2005年5月期中に新卒派遣事業およびケア(介護)関連の派遣事業を分社化したため、補正後データを参考数値として開示。

※2006年5月期第4Qより、吸収合併した株式会社ソシオの数値を含む。

※2008年5月期第1Qより、特別プロジェクト案件の影響が小さくなったため、その数値を含む。

数値基準を変更したため、( ) 内前期比は参考値。

**●派遣職種別売上高** (連結・内部取引消去後)

(単位：百万円/未満切捨)

	2007年5月期 第1四半期	2008年5月期第1四半期			
	売上高	売上高	構成比 (前年同期比増減)	前年同期比	
クラリカル(一般事務)	27,961	29,126	54.4%	△0.8pt	+4.2%
テクニカル(専門事務)	8,634	8,611	16.1%	△0.9pt	△0.3%
ITエンジニアリング	5,235	5,562	10.4%	0.1pt	+6.2%
営業・販売職	3,469	4,813	9.0%	2.1pt	+38.7%
その他の派遣・請負	5,307	5,369	10.0%	△0.5pt	+1.2%
派遣付随業務	62	50	0.1%	0.0pt	△18.1%
合計	50,671	53,534	100.0%	—	+5.7%

**●四半期毎業績推移**

(単位：百万円/未満切捨)

売上高	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通期
2006年5月期	48,726	49,520	50,484	55,084	203,815
2007年5月期	56,444	56,757	57,498	60,531	231,231
2008年5月期	60,489	—	—	—	—
前年同期比	+7.2%	—	—	—	—
営業利益	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通期
2006年5月期	1,188	1,934	2,382	2,240	7,745
2007年5月期	2,277	2,037	2,330	1,862	8,507
2008年5月期	1,529	—	—	—	—
前年同期比	△32.8%	—	—	—	—
経常利益	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通期
2006年5月期	1,207	1,895	2,381	2,360	7,844
2007年5月期	2,377	2,014	2,367	2,047	8,807
2008年5月期	1,584	—	—	—	—
前年同期比	△33.4%	—	—	—	—
当期純利益	第1Q	第2Q	第3Q	第4Q	通期
2006年5月期	543	939	1,113	992	3,588
2007年5月期	1,125	947	1,050	1,074	4,198
2008年5月期	795	—	—	—	—
前年同期比	△29.4%	—	—	—	—